

星の夢百聞

～ 第 165 号 ～

発行日:2019年11月1日

発行:有限会社 おいらーく

札幌市東区北 25 条東 20 丁目 7-1

発行人:星野 二三江

ダイバージョナリセラピー

DTってなーに？

第4回 事例発表会報告！

第2事業部

えくぼ東雁来

太田 信枝

1年くらい前から認知症が出現した利用者様、Mさんの取り組みを発表しました。物取られ妄想や娘さんとの不和から始まり、記憶相違等で住宅の方との会話も混乱され、常に不安がいっぱい。ご自分でも「自分の頭が変になってきている。すぐに忘れる。」と自覚があるため、声掛けも慎重に対応しなければいけません。サテライトと住宅、えくぼ東ホールと3つの場所で、5つのアプローチ（サテの毎月ごとの写真スクラップ作り・一行日記・Mさん専用カレンダー・日光浴・ご主人とのアルバムを作りプレゼント）に取り組み、一か月後にはDTアセスメント表の数字に変化が起きました。困っている項目の数字は、認知的部分・感情的部分が減り、不安からくる歩行の不安定さも減り、身体的数字も減りました。できる能力は、認知的・感情的・社会的の部分で点数が上がりました。

取り組みは現在も継続中ですが少しでも不安を取り除き笑顔が増えるよう支援させていただきます。



第1事業部

うらら伏古

伊藤 典子・小林 まゆか

うらら伏古では「Iさんの笑顔は職員の笑顔から」をテーマに発表させて頂きました。今回、取り組んでいく中で、私達は自立支援だけにおもきを置くのではなく、その方の「出来る事」「出来ない事」にも着目し、見極める力が必要である事を再認識できた事例発表でもありました。



第3事業部

生きがいサロン東雁来

小原 諭・浅田 由美子

生きがい東雁来の発表は、要介護2の方が要支援2となり、その経験を他の利用者さんへ伝えていただき、利用者が利用者と呼ばれ込む仕組みができつつあり、気持ち一つで疾患を患っていてもできるようになっていく過程を発表させていただきました。

包丁をもう二度と握れないのではないかと思われていた方が、デイに通い精神面、身体面の向上を経て家事動作ができるくらいまで機能が戻り、自信がついたことでもう一度包丁を握り調理ができるようになり、現在もデイに通い調理の作業を自発的に行って自分の経験を他の利用者さんに伝えて指導してくれています。もちろん自宅でも自炊ができるようになっています。これからも生きがいサロン東雁来の中心的存在の利用者であると思っています。これからも利用者さんが元気になるような支援をしていければと思います。



第4事業部

シーフロント輝楽

蓮川 享士

対象者は認知症による見当識障害により現在がいつだかわからない時間の不連続性のなか、自分のすべきことも不明となる大きな不安に包まれています。今回のDT事例発表は対象者のその長期記憶を手掛かりに色々なアプローチを試みたものです。

結果そのような状況においても人間は楽しみ自分らしくいられることがわかりました。過去を振り返りその時々感情や感覚、風景を思い出すことで懐かしみ安らぎ生き生きとされています。その活力や情熱を今現在につなげていきたいと考えます。

新人職員紹介!!

えくぼ東雁来：及川 隆太



7月16日付けで入社致しました及川隆太と申します。前職は小樽にある特別養護老人ホームに勤めていました。小規模多機能居宅介護に勤めるのは初めての事で右も左もわからず毎日が勉強の日々です。そんな私を利用者様、職員の方々には温かく受け入れて頂き、毎日を楽しく自分らしく働くことができている。今後も利用者様、事業所の為に微力ながら頑張っていこうと思いますので宜しくお願い致します。

てんやわんや：田中 寿



初めまして。7月よりてんやわんやで勤務しています「田中 寿」と申します。

出身は千歳市で以前は千歳や苫小牧の特養、G H、デイサービスにて十数年働いておりました。趣味は野球をプレイしたり、ピアノを始めとする楽器演奏やカラオケ、料理や温泉、将棋など広く浅くですが充実した休日を過ごしております。幅広い趣味を生かし、利用者様に少しでも充実した生活を送れるように微力ながらお役に立てたら・・・と思っております。どうぞよろしくお願い致します。

CoCo 東苗穂：島村 由美



8月29日より CoCo 東苗穂の厨房で働かせて頂いています島村です。

厨房職員として皆様に「美味しかったよ」という声を聴かれる様に日々頑張っていきたいと思っておりますので、皆様宜しくお願いいたします。

サポートユアライフ：新山慶太



2019年10月1日に入社しました平成2年4月1日生まれの29歳です。美味しいグルメ探しと、温泉巡りが趣味です。食事を作る事も好きなので、訪問をして利用者様に食事を作って食べてもらえる事が、特にやりがいを感じています。

持ち前の明るさで、勤務をしていくので、よろしくお願いします。

てんやわんや本町：渡邊 良



今年九月から介護職として入社しました、渡邊良と申します。以前はパワフルひまわりにおりましたが、この度てんやわんや本町にお世話になることに成りました。

教わること、憶えることの日々で、利用者さんや他の職員の方々に迷惑をかけてばかりですが、一日も早くてんやわんやに慣れて、利用者さんや職員の方々に認めて頂けるよう、勉めて参りたいと思います。

総務：吉江 優美



7月末より、総務にお世話になっております。吉江と申します。入社当初は、毎日暑い日が永遠に続く様に感じておりましたが、早いもので3カ月が過ぎ街路樹の紅葉もすすみ、月日の流れが早い事を感じております。

入社して、まず思いましたのが、とても大きな組織であることです。まだまだ、総務の皆様にもご迷惑をお掛けする事がありますので、早く全ての業務に慣れたいと思っております。

総務：小嶋 千鶴



7月30日総務に入社しました小嶋千鶴です。まだ慣れないこともあり、皆さまにはご迷惑かけることもあると思いますが、やる気は人一倍ありますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

趣味は、家庭菜園と、ラーメン店巡りです。

秋の行楽シーズン報告

てんやわんや夢・秋の紅葉見学ツアー

秋の外出企画として恒例となっている紅葉ツアー。てんやわんや夢ではここ数年、平岡樹芸センターへ紅葉見学へ行っていました。利用者さんからいただいた「声」として「行つたことがない所へ行きたい」という意見を多数いただきました。そこで今回は、てんやわんや夢としては初となる円山公園へ10月15日～21日までの期間で行ってきました。ご案内を出した時から「円山へ行くのは本当に久しぶり・・・」、「昔あつちに住んでたから行くのが楽しみ・・・」という声をいくつも耳にし、みなさんの期待をヒシヒシと感じておりました。

そして当日を迎え、期待に胸をふくらませ、円山公園へ！公園内の紅葉はわずかに色づきはじめてばかりで1～2週間程早かったようでした。しかし、そこで嬉しい誤算が生じます。北海道ではちょうどこの時期、七五三のお参りシーズンで、北海道神宮へ続く公園内は慣れない着物を着た小さな子供たちであふれかえっていました。子供たちを目にした利用者さんは・・・もちろん大喜び！その光景を見ていた職員にも自然と笑顔がこぼれます。

このように主役の座を完全に子供たちに奪われてしまった格好の今回の紅葉見学でしたが、参加した利用者さんはいつもの紅葉見学とは違う満足感があったのではないのでしょうか。今回はあまり紅葉を楽しむことができなかったかもしれませんが、来年はしっかりと紅葉狩りを満喫していきたいと思えます。

(鈴木 健士)



えくぼ 紅葉狩り外出しレポート

10月21日・28日と2回に分けて紅葉狩りへ出かけました。両日共に天気にも恵まれ雲ひとつない快晴です。まず21日は北大のイチョウ並木へ。この日は気温も20度程度まで上がり、歩いて身体を動かしていると暑いくらいでしたが、昼下がりの太陽に照らされたイチョウの木々が黄金色に輝く構内を散策することができました。28日は平岡樹芸センターへ。この日の気温は15度程度と涼しさを感じましたが、先週より紅葉は進み木々はまさに真っ赤に燃えているような彩り。赤い葉のトンネルのようになっていく園内をみて回り、改めて自然がもたらす四季の美しさに皆さん感激した様子でした。

朝礼でのステキなお話

第5回

～利用者様との巡り合い～

居宅支援事業所フォルテシモ 澤向 まゆみ



おいらーくに入社して約一年半が経ちました。今日は利用者様のことを話します。

今年の6月から支援させていただいているE氏、80歳、男性。東区役所保健師さんと一緒に初回訪問させていただきました。一人暮らしで、二年位病院に受診もしていない。室内も荷物が多く乱雑になっています。

A病院に受診して慢性心不全・II型糖尿病・陳旧性心筋梗塞・認知症で即入院となりました。病状も落ち着き、退院して自宅に戻りました。認知症も進んでおり、ご本人は「何が何だかわからなくなる。忘れることが多い。元々時間で生活していることはなかった。眠たくなったら寝てお腹が空いたら食事する生活をしてきた。何とかなると思っていた。サービス導入についてはお世話になることは受け入れても良い」との話でした。

退院前から病院で各サービス事業所の方と集まり、カンファレンスを行い、サービス導入しました。ご本人の意思を尊重しながら、ケアマネとして何が出来るか？ご本人の生活の質を上げるにはどうすれば良いか。何回も訪問して、ご本人の様子を見て話しを聞きました。各事業所とも連絡取りました。疎遠だった弟様とも連絡がつき、受診に同行してくれるようになりました。自宅に訪問して様子を見て来てくれます。弟様に今までの生活歴を聞くこともでき、今後の方向性もご本人・弟様と話す事が出来るようになってきました。利用者様を周りのみんなで支えていくことの大切さを痛感しています。認知症が進んで来て物忘れがひどくなってきたても、感情は残っており、相手の感情を読み取ります。とても敏感です。

今回、何回もトイレに通い血尿が出ていると訪問介護事業所から連絡あり、弟様に連絡、受診に繋がりました。入院となり、お見舞いに行くと口数は少ないのですが「すまないな」と話されました。いろんなことを忘れていても暖かい心、気持ちは残っています。帰り道は雨がひどかったのですが私の心は穏やかでした。これからのいろいろな利用者様との巡り合いを楽しみにしています。(澤向まゆみ)

うらららハロウィン

今月はハロウィンの月です。そこで、私達うらら伏古でも毎年恒例の職員が仮装し居室や廊下を練り歩き入居者様との写真撮影を行いました。笑顔で写真を撮る入居者様や職員の仮装を見て怖がったり、驚いたりする入居者様など喜怒哀楽が沢山見られました。ハロウィンの事を知らない入居者様も職員の仮装を見て、雰囲気を感じてもらえたのではないのでしょうか。

また、今年は1階のきらら伏古にもお邪魔し利用者様との交流を図りました。

利用者様とも写真を撮り、うららだけでなくきらら伏古の利用者様にも楽しんで頂けたのでとても良かったです。

機会があればきらら伏古の皆様とも交流を図っていきなあと感じる行事になりました。(山本 亮太)



きらら伏古にもお邪魔しました！



第54弾!

ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話

ラグビーワールドカップ日本代表、リーグ戦4戦4勝の大快挙だ。最終戦のスコットランド戦はお互いに死力を尽くした熱戦の末、日本が劇的勝利。史上初の8強入りを果たした。この勝利は台風被害に遭われた方達への最大の励ましとなったと思う。

しかし日本は決勝トーナメント初戦、南アフリカに敗れてしまった。悔しいが日本は本当に良くやった。勝ち負けだけではない大切なものを彼らは教えてくれた。ルールを知らない人もこのたびの日本代表の活躍でラグビーに興味を持ったのではないか。かくいう私もにわかラグビーファンである。しかしゲームをより楽しむためには知っておいた方がよいこともあるだろう。

まずラグビーボールは何故あのような楕円形をしているのか。どんな球技も使用するボールはまん丸い。バウンドしたらどこへ転がるかわからないようなあんな形を何故選んだのか。様々な説のなか有力なのは、昔のラグビーボールは豚の膀胱を膨らませ革で包んだもので、その形が楕円形だったというもの。その後豚の膀胱の代わりにゴムが使われるが、試合では手で扱うことがキックよりも重要になりボールはさらに流線型となり、今の形となったようだ。確かにボールを強く抱きしめて走るときには、球体よりも楕円球のほうが扱いやすい。一方どこに転がるかわからないような偶発性が試合を面白くしていると言えなくもない。

1チームは15人。相手チームと1つのボールを奪い合う。ボールを持つての単独突破やキック、パスや押し合いにより、ボールを進ませて行く。そして相手ゴールラインの向こう側にボールを持ち込み、地面につければトライとなる。試合時間は、前半10分・後半40分で10分間のハーフタイム。試合終了後はノーサイドとなり、敵味方の区別なく互いの健闘を讃えあう。ラグビー特有の素晴らしい感動的な瞬間だ。

ラグビーの規律や自己犠牲、尊敬の精神は日本人の好むところではないだろうか。国民性にもじっくり来るスポーツなのかもしれない。

ああ我が家でも審判が笛を吹いて「ノーサイド!」と宣告してくれないものだろうか。秋の深まりとともに夫婦間の溝まで深まっているスクラムを組みなおし「One for all」の心を忘れずこの危機を乗り切ろう。日本代表の主将リーチ・マイケルにトーナメントの行方を聞いた。「まあ、いける」残念ながらその夢は叶わなかったが・・・とほほ。

(蓮川 享士)

リハビリサロン本町

1周年

皆様に支えられてリハビリサロン本町は9月で1周年を迎えることが出来ました。御協力頂きました皆様、支えて頂きました地域の皆様、何よりご参加頂いております会員の皆様に深く感謝申し上げます。現在会員登録者数18名、週1回木曜日の体操の日にはほとんどの皆様にご参加されています。

最高齢95歳ますますお元気で体操を頑張っておられます。中には1年間体操の日皆勤賞の方もいらつしやいます。今後は少々手狭の環境を改善すべく、週にもう1日体操の日を計画しております。

今後とも御支援御協力の程宜しくお願い申し上げます。

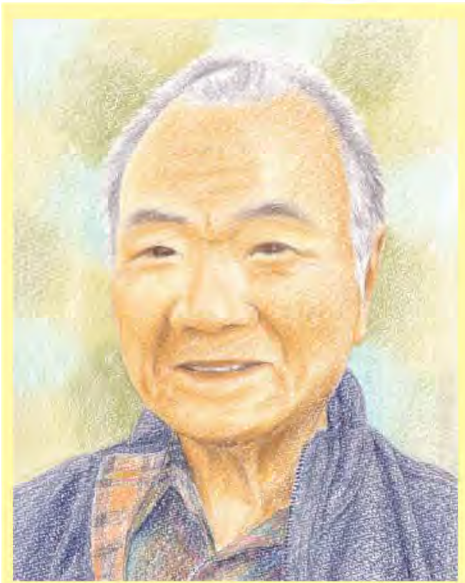
(相田 仁子)



おめでとう!!



特集! 人間万事塞翁が馬



似顔絵作: 松田 郁美

U様は終戦となる二年前の昭和18年7月5日、現在は平成の大合併で岩手県久慈市と合併した岩手県九戸郡山形村大字川井で長男、長女の下、次男としてこの世に生を受けられました。その故郷でご両親が営む家業の手伝いをしながらすくすくと成長され、昭和34年15歳の時に出嫁ぎに向かう一団に紛れて北海道は日高町に到着します。

当時15歳であったU様はそのままの年齢では働くことが出来なかったため、年齢を18歳ということにして当時の北電に雇って貰ったと笑いながら話してくださいました。朝は隧道(トンネル)工事の重機運転手として(これも無免許だったと笑われていました)、仕事が終わってからは声が掛かれば休む間もなく工夫として必死に働いたとのこと。その姿を見て、徐々に他の作業員や親方衆は信頼を厚くしていったようです。ところが三年目のこと、寝起きを共にしていた 半場が火事で焼失してしまい仕事を続けてゆくことが困難になってしまったため、その地に残る仲間たちに惜しまれながら故郷の岩手に戻ることに決めたとそう。その時、実家は山形村から釜石市にそ

の住居を移していたとのことでした。釜石に戻って直ぐのこと、「これから東京で金魚屋をするのでついて来ないか?」と、とある親方が誘ってくれ、U様は再び故郷を後にします。東京に到着すると何とその親方は直ぐに金魚屋を辞めるとトラックを購入し、スクラップなどを運ぶ運送屋を始めたため、助手として働き、運転免許を習得してからは自らも運転手としてトラックで東京、川崎間などを何度も往復したとのことでした。

そうして東京で忙しくトラックを運転していた昭和39年の夏、日本は東京オリンピックの開催に国民が熱狂していた中、U様は一本の連絡を受けます。それはかつて北海道で一緒に働いていた一人の親方から「一緒にの会社で働かないか?」との誘いでした。その親方はU様の朝も夜もなく、一生懸命に働く姿をしっかりと覚えていたのです。U様は東京を後にする決心をすると、再び北海道で重機の運転手や工夫として苦小牧や美瑛、旭川などを寝る間も惜しんで飛び回り、色々な工事に携わります。その中で、色々な親方達や別業種の方々とお会いすることが出来たのは財産だったとのこと。『そこからはがむしやりに働いた』、そうU様は話しておられました。独立をして二年後には新冠町で700坪の土地を購入、3年間での支払いの予定を1年間で完済し、そのあとは新しいトラックや生コン車を次々と購入すると人を雇い事業を拡大されていきます。特に生コン車を運転し、ダムや港などにコンクリートを施工する技術は高く徐々に評判になっていきました。『あの時の睡眠時間は三時間も無かったけど両親が頑丈な体に産んでくれたからあんな無茶なことも出来た』と当時を振り返られていました。その頃に今は亡き奥様と出会われ結婚、二児の父親にもなられています。

当時の日本は田中角栄内閣が日本列島改造論を

発表し事業の追い風になったとU様は話します。仕事の場所はもはや北海道だけではなく、神戸や小田原、広島や八幡など日本中でトラックを運転してきたというので驚きです。何処での生活も忙しく楽しかったと懐かしそうに話される表情が印象的でした。

それから時は過ぎて平成8年、U様は不調を感じますが事業が忙しいこともあり病院へは行かずに行きましたが、平成13年とうとうその体調不良に負けて地元の病院受診したところ札幌の病院を紹介されます。受診の結果は末期の喉頭がん。すでに手術に耐えられる状態ではなく、他の病院で療養を勧められました。ところが何とがんは嘘のように完治、この時U様は病院で一時「奇跡の人」として有名人になったと笑いながら話されています。平成22年には再び不調を感じ受診をしたところ心臓弁膜症と診断されますが、これも手術を受けられ無事治療が完了。ただ、この頃の不景気や体調不良の不安もあり同業者や銀行などの引き留めがありながらも、事業をたたむ決心されます。その後奥様はがんで亡くなり二人のお子様は無事独立。気が付けば一人になってしまった、とU様は話されます。現在は札幌の高齢者住宅で生活をしながら、てんやわんや31条、デイサービスセンターに通所され、自立した生活を続けていくことが出来るようリハビリを中心様々な活動に参加をされています。最近土曜日の通所での外出レクリエーションを楽しみにされているとのこと。

(聞き手: 日渡 誠一郎)

おいらーく

10月行事内容と11月行事予定

令和元年11月行事予定

令和元年10月行事内容とイベント風景

令和元年
11月行事予定

令和元年
10月行事内容とイベント風景

| | |
|----------|--|
| せんり | ○考流学舎カフェ ○運営懇談会 |
| うらら伏古 | ○20日 うらら行事(内容未定) |
| COCO東雁来 | ○12日 お茶の間喫茶ココよ ○13日・28日 訪問美容室 ○26日 猫目さん衣料品販売会 |
| 東雁来式番館 | ○20日 考流学舎様「出前カフェ」 ○セブンイレブンさん訪問販売 ○余市の果物屋さん |
| COCO元町 | ○外出行事 |
| 元町式番館 | ○ビューティーボランティア |
| えくぼ東 | ○お好みドライブ ○外食 (サテライト) |
| 東苗穂COCO | ○お茶の間喫茶 ○わくわく広場 |
| ホームグループ | ○読み聞かせボランティア ○合同レクリエーション |
| 銭函お散歩カフェ | ○2日、16日 趣味の会 ○15日 認知症カフェ～「歌って!愉しく!リフレッシュ!」 ○25日 ローズウィンドウ |

| |
|---|
|  |
| <p>○23日 うららハロウィン ※各事業所行事報告を参照下さい。</p> |
| <p>○お茶の間喫茶ココよ ○訪問美容室 (金さん銀さん)</p>  |
| <p>○12日・22日: セブンイレブンさん訪問販売 ○10日・24日: 余市の果物屋さん</p>  |
| <p>○紅葉見学</p>  |
| <p>○4日調理レク ○21日紅葉ツアー</p>  |
| <p>○スイーツ男子 ○札苗緑小学校見学</p>  |
| <p>○お茶の間喫茶 ○わくわく広場 ○サンマ焼いちゃいました</p>  |
| <p>○道の駅ドライブ ○紅葉狩り ○ハロウィン</p>  |
| <p>○5日、19日 趣味の会 ○おさんぼギャラリー～たかたのりこさんの世界</p>  |

経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。